

今回 4 年ぶりに圃場調査を行いました。ご協力いただいた担当者さんとのあうんの呼吸は健在で、日本向け全品種の確認と、150 ロットを超える試し掘りを手際よく行う事が出来ました。ご案内とご協力に感謝しております。



④ 輸入実績と 2024 年南半球産 取扱い予定品種について

ホームページでご紹介の植物検疫統計の通り、2023 年南半球産の輸入球数は、輸入時に台風の影響もなく 9 月までの輸入球数は前年比 135%とスムーズでしたが、輸入総数は 1731 万球で、前年比 93.2% (▲6.8%) と減少しています。

ピーク時(2012 年)2785 万球 (LA も多い) から随分と減少し続けたことは残念ですが、特にコロナ以降、少量取引は現地の輸出作業効率に影響する課題になりました。チリ産では商流再編が進み、まだ各生産者から適宜輸入可能な弊社の取扱いが日本全体の半分以上になり、収穫時期が早い LA については 85%以上となっています。また日本国内での球根貯蔵や物流の点から、輸出会社に対し弊社が担える役割の可能性も感じています。今後も現地訪問を継続し、市場性ある品種の安定した生産と品質に寄与し、日本のゆりを再び増加傾向へ転換させられたらと思っています。皆様のご協力とご高配をよろしくお願い申し上げます。

2024 年南半球産の取扱予定品種(暫定版)のご案内ができますので、弊社営業までお問合せ頂けましたら幸いです。確証はないですが、弊社の南半球産取扱品種数は世界的にも最も多い方ではないかと思えます。社員のチームワークと百合に特化したシステムで、より良いサービスの提供を目指してまいります。

弊社試験農場では、南半球産のテストが見ごろを迎えています。来季のご計画の参考になると思いますので、ぜひお気軽にご来場下さい。 以上